

TouchFocus® × クレツセント



三井化学株式会社 新ヘルスケア事業開発室 竹内 悠馬氏
*TouchFocus® は右側のフレームセンサーに触れて操作する

次世代メガネ TouchFocus® (タッチフォーカス®) 一般的な名称：眼鏡 販売名：タッチフォーカス 医療機三井化学株式会社 器届出番号：13B3X10142000110

三井化学株式会社は、2018年2月から、ワンタッチで遠近を瞬時に切り替えられる次世代メガネTouchFocus® (タッチフォーカス®) の販売を開始した。

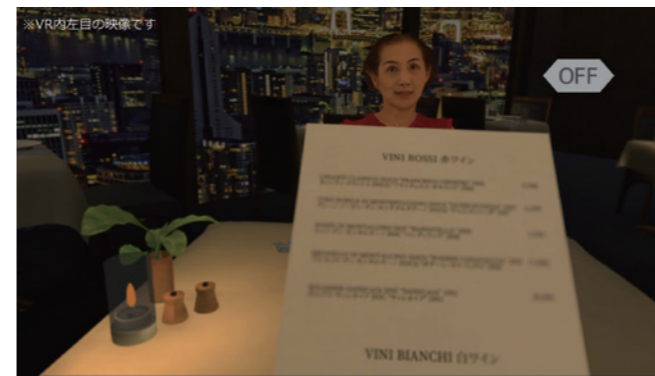
一見するとスタイリッシュなメガネにしか見えないTouchFocus® のフレームには、電子回路が内蔵されている。フレームのタッチセンサーに触れると、電子液晶レンズが作動し、瞬時に遠近の切り替えが起こる全く新しいコンセプトの次世代遠近両用メガネだ。TouchFocus® のONモードでは、ワンタッチでレンズの中心部に近い位置に近方視界が表示されるため、自然で快適な視界を得ることができる。また、普段、近くを見る必要がない時にはOFFモードにすることで近方視界が消え、遠中のレンズ設計に。従来の遠近両用メガネと比べて歪みが少ない、広く快適な視界を実現することができる。現在では様々なフレームラインナップが用意され、ファッション志向の高いユーザーにも応えるデザイン性の高いラインナップを提供している。

クレツセントは、三井化学からの依頼によりTouchFocus® をVRで疑似体験できるシステムを開発した。お酒落なレストランでのディナーというシチュエーションで、薄暗い照明下でのメニューや様々な具材で繊細



に盛り付けられた料理、ワインラベルなど、普段、老眼世代の方々が苦勞しているシチュエーションで、従来の累進メガネと比較したTouchFocus® の使用メリットを疑似体験することができる。このVR疑似体験システムは、パイロット店となるTouchFocus® 販売店の一部(東京メガネ 西武池袋店、東京メガネ そごう横浜店、東京メガネ 神戸阪急店)で体験することができる。

三井化学株式会社 新ヘルスケア事業開発室竹内 悠馬氏にTouchFocus® の今回のVR疑似体験システムについて取材した(以下カギカッコは同氏)。(取材：株式会社伸樹社)



暗いレストランでのメニューの見えを再現

VR 疑似体験システムについて

「(VR疑似体験システムを開発するきっかけ) TouchFocus® はこれまでにない全く新しい遠近両用メガネです。レンズは、従来の遠近両用メガネと同様、お客様の処方に合わせて作成しますが、一般化された従来のメガネとは異なり、電子的に焦点距離を切り替えることを実現した新規性の高い製品のため、店頭においてあるサンプルでは実際の見え方が実感がしづらく、TouchFocus® の良さが上手く伝わっていませんでした。そこで、TouchFocus® の見え方をVRで再現して、ユーザーの普段の生活の中で感じていただくことができるメリットを体感していただくようにしたのが今回のシステムです。動画でもある程度伝えることができますが、VRであれば実際の見え方に近い視界を再現することができるのでより理解が深まりました。今回クレツセントさんに製作していただいたコンテンツは5分くらいのストーリーですが、店員さんの説明がなくともそのストーリーを見るだけでTouchFocus® の良さを全て説明できるようにしたこともこだわったポイントの一つです。先日、実際に店舗にご来店いただいた方全員に体験していただく機会があったのですが、「とてもわかりやすい」というお言葉をいただきました。」



CRESCENT CASE STUDY

VR疑似体験システムの開発は、2019年10月ごろに三井化学からクレツセントに打診があり、2020年5月から本格的な開発が開始された。システムへの評価について三井化学ではVR技術はもともと認識していたが、今回の再現技術は世界的に見ても高いもので非常に満足度の高いものであったという。特に周波数によって、ボケ方が違うところまで再現できていたので、人の目をリアルに再現できたものであったという。

今後について

「現在、展開しているパイロット店舗からは店頭での体験ツールとして非常に好評価をいただいています。今後、引き続き、検証を継続していきますが、販売に繋がることが見えてくれば、コンテンツの拡充や他店舗への展開を検討していきたいと思っています。」



体験の様子

